

環境管理活動

製造本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員 製造本部長
奥水 宏人

製造本部は、グローバルで戦える体制を構築するために、世界同一品質および安定供給の実現を目標に取り組んでいます。そのために積極的な海外拠点への派遣、技能オリンピック、TPM導入による3ゼロ達成(クレーム・労働災害・重大設備事故)、グローバルに活躍できる人材育成に努めております。更に、各工場では、生産効率向上とコスト削減を目標に取り組んでいます。

環境活動の取り組みとしては、省エネ化、廃棄物の削減、化学物質の適正管理推進、工場隣接地域の清掃等の地域美化に貢献しています。

環境方針

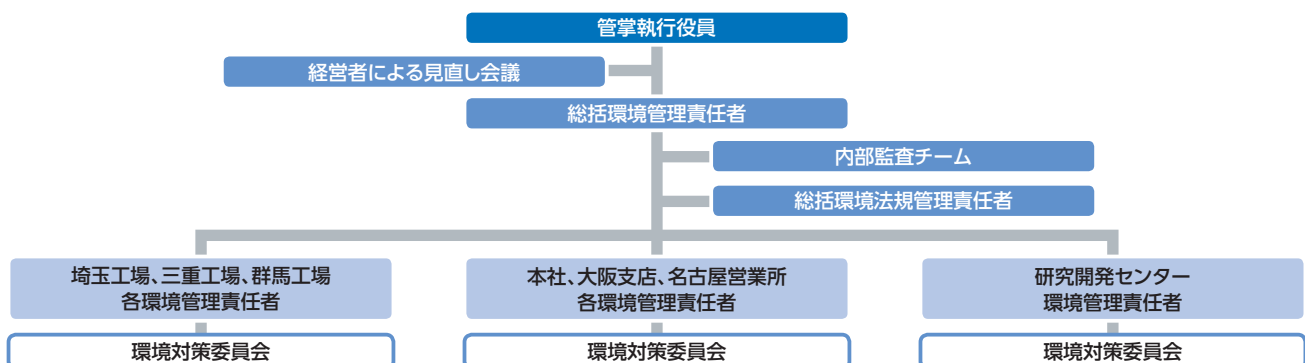
あらゆる企業活動において環境との調和に配慮し、地球環境の保全と持続可能な社会を実現するために、環境マネジメントシステムを構築し、全員参加のもとに次の事を実施します。

- ① 事業活動において、環境関連法規及びその他の合意事項の遵守のみならず、自ら規定類を定め、環境管理レベルの継続的改善、環境汚染の予防及び環境保全の支援を推進します。
- ② 安全性の確保された原材料を使用し、省エネ・省資源型製品、リサイクル適合製品、生物多様性及び生態系への負荷の少ない製品等の環境に配慮した、さまざまな素材のプラスチック製品等を社会に供給します。
- ③ 持続可能な資源の利用、気候変動の緩和と対応に関して、可能な限り無駄を削減し、原材料の有効活用、使用エネルギーの極小化に努め、二酸化炭素排出量の削減と産業廃棄物の削減を行い、地球環境・生物多様性及び生態系への負荷を軽減します。
- ④ 環境方針を含め社内規定類を文書化し、社員への教育・啓蒙活動により、継続的な環境保全活動の定着化を図ります。
- ⑤ 環境方針達成のために環境目的及びできる限り数値化した目標を設定し、定期的に自己評価を行い、進捗を適時管理します。
- ⑥ 以上の活動をリケンテクノスグループの活動に結び付け、各拠点における地域環境・生物多様性及び生態系保全に最大の配慮を行い、安全な操業を確保します。
- ⑦ 適切かつ正確な情報開示を行い社会からの信頼と理解を得ることに努めます。

環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム組織図

管掌執行役員がトップに立ち、総括環境管理責任者の指揮のもと、各サイトに環境管理責任者を置き環境マネジメントシステムを構築しています。



▶ 推進体制

環境マネジメントシステムを推進するため、主要な会議、委員会等の構成メンバー、機能を明確にしています。

会議、委員会名	構成メンバー	機能
経営者による見直し会議	全取締役、執行役員、総括環境管理責任者	方針、目的および環境マネジメントシステムの妥当性評価
内部環境監査チーム	有資格内部監査員	適合性監査の実施
環境対策委員会	環境管理責任者、各部門長、各部門委員	環境目的・目標の設定、是正処置・予防処置の審議、環境問題の審議

▶ 総括環境管理責任者と環境管理責任者の役割

全社総括管理と各サイト管理の責任を明確にしています。

責任者名	役職名	役割
総括環境管理責任者	マネジメントシステム部長	全社の環境マネジメントシステムの構築・実施・維持
総括環境法規管理責任者	マネジメントシステム部長	環境関係法規等の管理
環境管理責任者	サイトの責任者(工場長等)	サイトの環境マネジメントシステムの構築・実施・維持

▶ 品質・環境の監査の体制

(1) 内部監査

総括環境管理責任者の指示のもと、約100名の内部監査員によって毎年1回、品質、製品安全、化学物質管理をはじめとした環境マネジメントシステムの内部監査を行っています。2016年度は58部署で監査が実施され、22件の是正処置要求書が発行され、観察事項を含めると216件の指摘件数がありました。是正処置件数は昨年度35件から22件に減り、文書管理・設備管理に改善がみられました。是正処置の実施により引き続きマネジメントシステムの改善・確実な実施を図っていきます。

(2) 外部監査

外部審査機関のISO9001・14001審査機関による更新審査を、全サイト(本社、大阪支店、名古屋営業所、研究開発センター(東京)、埼玉工場、三重工場、群馬工場)を対象に受審致しました。軽微な不適合6件、改善事項20件の指摘がありました。指摘があったフロン排出抑制法の対応等について改善致しました。また、2016年度は21社の顧客監査を受けました。指摘事項につきましては、適切に改善を実施しました。

▶ 緊急時対応

各サイト・各部門で想定し得る緊急事態を定め、緊急事態対応一覧表を作成し、定期的な訓練を実施しています。

リケンテクノスは多量の化学物質・消防法危険物を原材料として購入・使用しています。そのため、化学物質の社外への流出防止および消防法危険物起因の火災予防を最重点課題として取り組んでいます。2016年度は可塑剤の漏洩がありましたが、工場外への流出はなく、訓練どおり対処されました。また、近隣からの苦情はありませんでした。

▶ ISO14001(2015) 認証取得

環境との調和に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーからの信頼に応え得る企業の構築に取り組んでいます。

環境方針を設定し、全社全部門にて同規格を認証取得しています。

初回登録 2001年10月31日 有効期限 2019年8月30日